

しては全年度に入ると、主要な建設材料の価格変動調査結果を公表し、この際、再生砕石の価格動向は、「横ばい」が45都道府県で、「やや上昇」は埼玉と福井の2つ。3カ月先で

再生砕石の価格動向は、「横ばい」が45都道府県で、「やや上昇」は埼玉と福井の2つ。3カ月先で

黒姫 作業状況をライブ中継

経営改革新計画に承認

コングリート塊の収集運搬から破碎処理、再生砕石の販売までを手掛ける黒姫（東京・足立、渡辺明彦社長、☎03・3896・7111）は、「ライブカメラによる処理業務のリアルタイム管理」を導入、東京都から中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に基づき経営改革新計画として承認された。

経営革新計画のテーマは「顧客に安心を提供するための、産廃処理業務の新たな監視体制の構築」。実績や取り組み姿勢といったあいまいな判断材料ではなく、映像という確かな情報によって不正を行ってないことを強くアピールするのが狙いとなる。

処理業務のライブ映像に加え全車両で導入して

いるGPSともあわせ、顧客が処理の流れを直接監視できる体制を整備した。情報はインターネットを通して不特定多数にも公開する。従業員の不正抑止意識の向上にもつながるのだという。ライブ映像の管理は総合警備保障に依頼している。顧客に対して新管理システムの使い勝手や不正抑止効果などの満足度調査を実施するほか、新規の営業先にもパンフレットや自社のホームページでPRを行っていく。同社は「収集運搬会社として当たり前のことを、当たり前に行う」として、電子マネー伝票やGPSのほか、国際認証としてISO9001、14001、OHSAS18001を取得。環境保護の観点から「キーチェーン方式」によるアイドリングストップや近隣清掃などにも取り組んできた。

再生砕石の価格動向は、「横ばい」が45都道府県で、「やや上昇」は埼玉と福井の2つ。3カ月先で11県のみである。黒姫車は「均衡」が、先月の31から35と4増加した。「ややひっ迫」はない。在庫状況は、先月から3減の41が「普通」で、「豊富」が神奈川と長崎だけ、「やや品不足」は、静岡・三重（2カ月目）、鳥取、岐阜となった。

環境・社会 報告書2008

▽三井ホーム

三井ホームは、2007年度の環境保全活動状況と社会的責任への取り組みについてまとめ、「環境・社会報告書2008」を発行した。新築現場からの廃棄物総排出量は20立方メートル（1棟当たり45坪換算）で改善がみられたもの、目標とした基準年度（04年）比21%の削減には至らなかった。一方、廃棄物最終処分量は5・1立方メートル（1棟当たり45坪換算）で基準年度（04年）比59・7%減。04年度比39%減を達成した。再生利用率は本々95%（目標85%）、紙くず81%（目標50%）、廃プラスチック66%（目標50%）、石膏ボード95%（目標93%）。いずれも中期活動目標を達成した。CO₂排出量削減については、工場生産時やグループで節電対策に取り組みほか、木材の再生利用、リユースなどを推進する。グループ会社の三井ホームコンポネントの埼玉工場では、ランバー投入材積1000立方メートルの産業廃棄物排出量を05年度比56%減を達成。今後の取り組みとして、引き続き廃棄物の削減、住まいの省エネ性の向上など環境活動をグループ全体で推進し、信頼される企業としていきたいとしている。